
世界をわたる少女

NEW GENERATION

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界をわたる幼女

【Nコード】

N6563Y

【作者名】

NEW GENERATION

【あらすじ】

現実世界で事故に会い、死んでしまう主人公（男）。しかし目を覚ますと目の前に自称下っ端神様という幼女が！その神様のミスにより死んでしまった主人公は神様と融合することにより消滅を免れる。そして下っ端神様としてお偉いさん方を楽しませるという無茶ぶりをうけ様々な世界に幼女（中身は男）として物語に介入してゆく

みたいな感じ？ですかね。

プロローグ

やあ、初めまして。

俺の名前は高野京耶。高校三年生だ。

いや、だった……って言うのか？

まあ、そんなことはどうでもいいんだ。

君たちは天国や神様、幽霊、挙げ句の果てには転生とか、そういう
た類のものを信じているか？

え？俺はどうなのかって？

俺は信じない。だって

「なので、あなたには私と融合することによりあなたがいた世界より生まれた、別の世界へ……って、聞いてますか!？」

信じたくないから。

拝啓

母さん、親父、天国のおじいちゃんおばあちゃん…。

俺こと高野京耶は死んでしまいました。

親父…あの世はあったよ…。ここにあった…。

しかもね、なんか見知らぬ少女から私と融合してくださいとか、責
任をとらせてくださいとか言われるし…

俺なんか悪いことしたっ!?

いじめだぜこれ！？目が覚めたら訳わからんとこにつれてこられて謎の少女から

「あなたは死にました」

とか言われた後に

「私と融合してくれませんか？」

とか、馬鹿じゃねえの！！

笑えねえよ！！

「む。馬鹿とは失礼ですね。それでも神様ですよ？下っ端ですが」

黙れ少女。俺のストライクゾーンと真ん中だとしても言っていないことと悪いことがあるんだ！

そして俺の心を読むな！

「よ、幼女！？……いえ、そんな事いつてる場合じゃない……。落ち着け私」

ぬ。幼女（神）が両手を胸に当てて深呼吸している。なかなか可愛
いじゃないか。

「……………」

ようじよは きょうやに じとめを つかった！

きょうやは もだえ くるしん だ！

「それで！私と融合しないとあなたが消滅しちゃうんです！あなたが死んでしまったのは私が原因です。なので私は責任をとらなきゃいけないのです。分かりましたか？」

いや、分かりません。

プロローグ続（前書き）

プロローグが分かれてしまった…。

き、気にしない気にしない。

そ、それではどうぞ。

プロローグ続

「…ん…う…」

どうやら俺は眠っていたようだ。
目を開きまわりを見渡してみるといつもと変わらない、見慣れた自分の部屋である。

夢……か。

それにしてはリアルだったな。
リアルに悪夢だった。いや、ある意味悪夢じゃないけど。

そんな悪夢？を見たせいからか、汗で服が湿っていて気持ち悪いところの上ない。あとで風呂でも入るか…。

それにしても、まったく…幼女が融合してくれ…とは。

……末期だな…。

な、なにがとは言わないぜ？それにこの目からでてるのは鼻血の一

種だからなっ!?

…とりあえずいろいろ覚ますために顔でも洗いにいくとするか。
そう思い、洗面所へ行こうと立ち上がる。

「……………?」

なんだ? やけにいつもより視線が低い気がする…。それにこのなんとも言えない違和感が俺の不安をかきたてる。

「いや……………まさかな…」

さらにはどこからか素敵なロリヴォイスも聞こえてる。

そんな素敵ロリヴォイスはスルーし、ある所へと手を伸ばす。

しかし目的のモノは見あたらず、掴もうと握った手は虚しく空をきつた。

「……………」

全身から冷や汗がダラダラとでてくる。

ダッシュで洗面所へとむかい、鏡で自分の姿を確認。

俺の希望を砕くように、そこにいたのはあの夢に出てきた少女（神）と瓜二つな美少女だった。

なにこの少女かわいい。毎朝僕に死者の目覚めをしてくださいあい！。

H A H A H A !

そんな馬鹿なああああ！！

いや、まで落ち着け。こんな時こそ深呼吸だ。

スー、ハー、スー

「お、目が覚めたか」

どこからかそんな声が聞こえたと思ったら、目の前に変なオッサンが現れた。

「ブツ!？」

「なんだ失礼な奴だな。いきなり吹き出しやがって」

「てめーも失礼だろ!？」

「ここ俺ちだぞ!不法侵入で訴えるぞ!？」

「俺んち?おかしな事を言うもんだな。説明を受けなかったのか?」

なんだなにが言いたいんだ目の前のオッサンは!

「ここはお前のもっとも安心できる場所を映し出す場所だ。まあそういった意味では一応ここはお前の家だな」

「有栖から言われたはずだぞ。融合した後はこの空間にやってくる、

と。あ、ちなみに有栖って俺の部下でお前と融合した奴の名前な」

「そんな…」

あれは夢じゃなかった…？それじゃ俺は本当に死んじまったってことかよ…。

……ま、しょうがないか…。

「俺は…これからどうなるんだ…？」

「これからは俺の部下として神界で働いてもらう。と、言いたいところなんだが実は上から直々に命があつてな。「いろんな世界へ言うて物語に介入し、我らを楽しませろ」だってよ。」

そんなんでいいのか神界…。
上の奴に会ってみたいな。

「今からとばすから。世界、能力、+ をクジで決めるぞ。さあ、
引け」

どっから出したか謎だけど気にしてもどうせ意味ないので無視。
えっ…と…？

世界が > 真・恋姫 + 夢想 <、能力が > 射撃チート <、 + が > スキル : 成長抑制 A + < ……………。

え、なにこれ。

「決まったか。それじゃいくぞ」

「は？もう」

「セイツ！」

「ぎゃあああああー！！」

ああ、神様って人の話聞かないのか……などと思いながら俺の意識は闇へと沈んでいった……。

ブログ続（後書き）

じじじじ。。

転生にするかそのままもってくか…

いまだに悩む。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6563y/>

世界をわたる幼女

2011年11月20日18時57分発行